

北海道支部第6回研究大会報告

2021年11月27日、「高校教育と地域創生」をテーマに、日本地域政策学会北海道支部の研究大会を開催した。北海道大学大学院環境科学院における対面開催に加え、ZOOMによる配信を行い、会場が30名、オンライン49名の計79名が参加した。

第一部では、講演として北海道大学大学院環境科学院教授の山中康裕氏、北海道札幌北高等学校校長の林正憲氏、北海道静内高等学校教諭(以下、静内高校)の古谷知之氏、北海道名寄産業高等学校教諭(以下、名寄産業高校)の金持達朗氏の4名、および高校生からの事例報告として、静内高校の生徒1名と名寄産業高校の生徒2名に登壇いただいた。まず、山中氏からは少子高齢化や過疎化が進む中で高等学校の存続が危機に直面する中で、従来の発想から脱し、地域創生の拠点、教育、まちづくりの中心としての高等学校という位置づけで規模にとらわれない学校経営に取り組むべきとの提案がなされた。また林氏より地方部における教員の若返りや総合学習から総合探求へのカリキュラム変更を前向きに捉え、地域創生に高等学校がより能動的に取り組むことの重要性が論じられた。さらに、こうした議論を踏まえた上で、地域と連携した実践的な教育活動の事例と可能性、課題について、静内高校および名寄産業高校の生徒、および古谷氏、金持氏より発表いただいた。静内高校の生徒からは、自分の考えと行動に対する大人の真剣な協力が活動へのやる気と自信につながったこと、活動から得た成長として自分でも世界を変えられると思えるようになったこと、そして活動には学力が必要と気づき勉学に励むようになり、今は活動に関する分野の大学進学を目指していることが発表された。続いて古谷氏から、前提として生徒の成長の結果として地域創生や社会問題の解決があること、これからの教育には、かつての知識・技術偏重型の学びではなく、問題設定能力・協働・レジリエンス・当事者意識を育む学びが求められることが示され、学びに向けた生徒の体験的活動の場と失敗のチャンスの創出への地域の協力の必要性が論じられた。名寄産業高校の生徒からは、農業クラブでのSDGsに関連した多様な取り組みについて、自分たちが将来のふるさとのあり方を考え地域社会の変革に取り組むことで、地域に必要とされる高校でありたいと考えていること、また地域をけん引するリーダーとなりふるさとを創生することを目指しESD活動を継続していくことが発表された。続いて金持氏から、農業高校が、科学性・社会性・指導性を育成する教育活動として、地域課題の探究、食育、地域資源を利用した商品開発、小中学校との連携学習など地域と共に歩んできたことが説明されたのち、農業高校の再編・統合による地域創生に資する教育機会の減少への危機感と、地域創生に向けて農業高校を地域に積極的に利用してほしいとのメッセージが示された。その後、北海道支部の神事務局長のコーディネートによるパネルディスカッションが行われ、地域創生における高等学校の可能性について、主として制度的な限界と課題、可能性、具体的な教育カリキュラムへの取り込みを指向する上での工夫点などについての意見交換が行われた。

少子高齢化や過疎化によって高等学校、18歳人口、さらにはそれらを支える地域のあり方が話題となる中でまさに時機を得たテーマ設定であり、さらには研究者に留まらず、高等学校の現役教員と生徒による議論が実現したことで、本学会が指向するアカデミズムと実務の融合を体現するような研究大会となった。出席者の関心も高く、会場・オンライン視聴者との意見交換も活発に成された。特に両高等学校から参加いただいた3名の生徒によるプレゼンテーションに対する驚きの声が数多く寄せられた。この点は、従来、大学や大学院、関連事業分野の事業者による参画を前提としていた学会活動の輪を高校生にまで広げ得る可能性を提示したとも言え、本大会の副次的な成果であったと評価している。

なお、第2部の研究・事例発表は下記のとおりである。

- ・ 「趣味縁の現在位置について」(北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 研究員 加藤康子氏)
- ・ 「中国広西チワン族自治区における農村観光のデスティネーションイメージ研究—風景イメージスケッチ手法を用いて—」(北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 卓一豪氏)
- ・ 「テリトリー・マネジメントの適用によるデスティネーション・マネジメントの実践—オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏における地域統合計画を例として—」(北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 趙茜氏)
- ・ 「自然科学博物館における中国語話者と英語話者のエンゲージメント—翻訳による影響の定量的分析—」(北海道大学大学院環境科学院 Abilla Espuna Sébastien 氏)

(文責：石黒・神)

